

広陵町全体で 330 世帯が参加 1175 kg-CO₂ 削減しました

2024 エコチャレンジシートを活用した温室効果ガス削減効果

2025 年 2 月 奈良県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO 法人奈良ストップ温暖化の会NASO)

4・5 年生を対象とした地球温暖化防止の環境学習後、各家庭での取り組み状況を記入してもらった「エコチャレンジシート」を数値化し、各家庭の取り組みによる CO₂ 排出量の削減効果として集計しました。

◆プール 1.9 個分の広さの太陽光パネルで発電したのと同じ効果

参加世帯数は 5 校 330 世帯、7 日間あたりの CO₂ 削減量は 1175kg-CO₂ となりました。

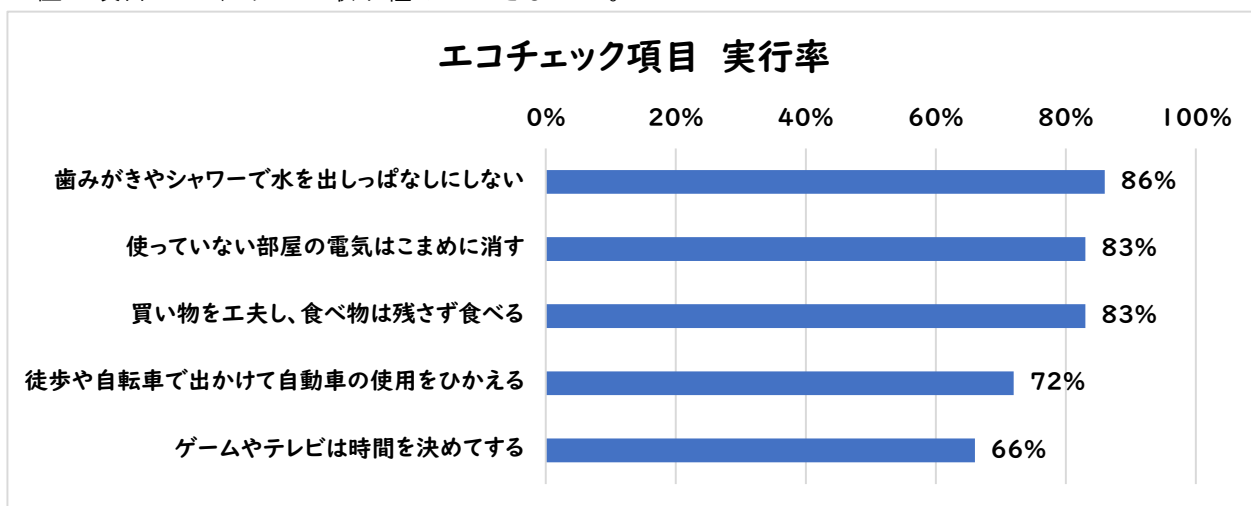
これを継続すると 1 年間で 61 t-CO₂ の削減となり、一般的な学校のプール (25m×15m) 1.9 個分の広さの太陽光パネル (約 143kW) を設置し発電することで、家で使う電気からの CO₂ 排出量を減らすのと同じ効果となります。設置した場合には約 2500 万円かかるので、経済的にも効果のある取り組みといえます。

1 人ひとりの力は小さくても、集まると大きな力となります。これらの取り組みをライフスタイルに組み込み、家族とともに継続することで地球温暖化の進行を止めることにつながります。

◆上位 3 つの取り組みは、10 人中 8 人以上が行動できた

各取組項目がどの程度実行されたかについて、実行率を算出しました。

実行率の最も高かった項目は「歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない」(86%)、「使っていない部屋の電気を消す」(83%)、「買い物は工夫し、食べ物は残さず食べる」(83%) が同程度で、上位 3 項目は 80% 以上の取り組みができました。



◆温室効果ガス削減量は「自動車の使用を控える」がトップ

次に、取り組み項目別の削減量を算出しました。エコチェックシートで取り組んだ項目と、実行された場合の 1 家庭 1 日あたりの削減量のめやすは以下のとおりです。削減量の集計に際しては、「できた」場合は表の削減量、「半分できた」場合は表の削減量の 1/2 量としました。

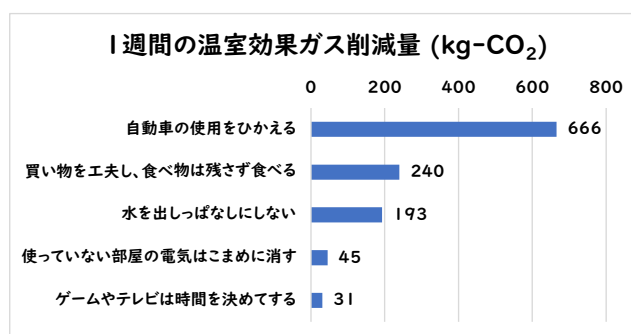
■エコチェックシートの取り組み内容と削減量のめやす

項目	CO ₂ 削減量のめやす (g-CO ₂ /日 世帯あたり)
使っていない部屋の電気を消す	23
テレビは見たい番組だけ	20
買い物を工夫し、食べ物は残さず食べる	125
歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない	98
自動車の利用を控える	400

取り組み実施期間である 7 日間あたりの CO₂ 削減量は、「自動車の使用を控える」が最も多く、666kg-CO₂であり、全体の約 57%を占めていました。自動車からの排出量は 1 回あたりの削減量が大きいことから、削減効果が得られやすいことがわかります。削減効果の大きな項目に積極的に取り組むとともに、削減量は小さくても意識を高めることができました。

■学校別参加世帯数及び CO₂ 削減量

	学校名	参加世帯数	温室効果ガス削減量 (kgCO ₂ /7日間)
1	広陵東小学校	62	212
2	広陵西小学校	119	404
3	広陵北小学校	45	156
4	真美ヶ丘第一小学校	52	216
5	真美ヶ丘第二小学校	52	187
	合計	330	1175



参加した家庭の多くが 8 割程度以上の取組に実行できたことから、子どもへの教育を通じた各家
庭への温暖化防止普及啓発活動は非常に効果的であり、継続の意義は高いと考えられました。

◆取り組みの感想など

<取り組んでみた感想（抜粋）>

- あんがが楽しくて「楽しく CO₂ をへらせるなんてサイコーだな」と思いました。とくに色ぬりが楽しかったです。
- エアコンの温度を 2 度あげていつもよりは冷えなかったけど大じょうぶでしたのでこれからも心がけていこうと思いました。
- ほかのことにもちょうせんしたい
- 心がけてやっていると、しぜんとできるようになった。
- 食べ物をのこさず食べるとどれだけ CO₂ がへるのか知りたいです。
- とくに「歯みがきやシャワーで水をだしっぱなしにしない」ことをがんばりました。
- いつもならお父さんに言われてやるけど自分でできたら気持ちいい
- 物をこわさないように大事につかいました。
- ふだんからしていることだったので、これからも、つづけられそうです。
- おふろをためたらすぐはいろいろと思いました。
- 最後の方は、ほぼゲームをしてなかった。
- エアコンの設定温度を 25℃→22℃に下げたので服を 1 枚多く着ました。
- 自分たちの、ささいな、行動で、CO₂ がへるというので努力できた。
- いがいと身近なことで、いつもなにも考えずにつけっぱなしにしていたり、ゲームの時間をせいげんしていなかったから、こういうことすると CO₂ が減ることが改めて分かった。

<保護者より（抜粋）>

- 子どもの宿題から、家族で取り組んだエコチャレンジですが、光熱費も少し下がり、毎日声を掛け合いながら行う“エコ”はステキな取り組みだと、この宿題を通して感じました。これからも家族全員でムダを抑えて行けたら良いと思います。
- タブレットでゲームをよくしているのですが、制限アプリを使って時間を決めて使用するようになりました。また、自転車で走ることが大好きなようで、積極的にエコチャレンジに取り組んでいました。これからも頑張ってもらいたいです。
- 子どもと相談して夕方以降に買い物に行くようにして達成できました。ゆっくり徒歩で行くと会話ははずみ、良い時間になりました。
- 出された食事は苦手なものでもすべて頑張って食べてくれていました。
- 買い物のときに産地を気にしたり、ムダのないように購入しようとする姿が見受けられました。
- 家族 5 人がリビングにいたことが多く結果的にエコにつながっているのだと気づかされました。歩くことや残さないことも環境の為だけでなく自分たちの身体に良いことでもあるので続けていきたいです。
- 子どもは何か楽しいきっかけがあれば自ら出来るんだなあと思いました。
- 1 週間、意識して取り組んでみることで、意識さえすれば、CO2 削減のためにできることはたくさんあると実感しました。親子で声をかけ合って、注意することができました。持続することが大切だと思うので、今後も家族で協力して、未来のために気を付けたいと思います。
- エコチャレンジを通して、家で節電や省エネに関係する取組は何なのかについて親子で話し合う機会を持つことができ、良かったと感じました。
- エコについての話を子どもが学校から聞いて帰ってきた時、私にその話を嬉しそうに話してくれました。エコについて興味を持った息子をとても誇らしく思いました。そして、エコチャレンジは家族みんなで取り組みました。日常からしている項目ですが、いい未来について想像しながら取り組みをする事で、よりいい未来を築くことができるという事に息子のおかげで気づく事ができました。
- 小学校より「エコチャレンジ」する事で意識改革をしてもらえると社会にでて、するのが当たり前であるが定着しているとうれしいです。
- 家族 1 人 1 人、世界中の人々がエコを意識する事で小さな CO2 削減が大きな削減へとつながる事を改めて子どもから教えてもらいました。これからも意識し、工夫をして生活していきたいと思いました。

<自分で考えた取組の一例>

- 電気を使わない物で遊ぶ
- 朝や昼は明るいから電気を消す
- みんな一緒に部屋でねてエアコンを一台にする
- 冷蔵庫のものを 10 秒以内に取り出す
- 早寝早起きをする
- 米のとぎ汁を植物にあげる
- 学校の給食の完食をめざす